

Styling: KUMIKO SHIMIZU Special Thanks : HOTEL SEIYO GINZA

vol.6

Escape ラグジュアリーは、 日常的なるものと対になってこそ輝く

感のなかにあるのかもしれない、と うのは、コスプレ感、すなわち非り ひとつだが、それが1週間以上続 う「日常からの脱出」は定番の贅 れを聞いて、ラグジュアリ

> 日常を脱出する喜びは、 心るべき日常があってこそ

なスリルと開放感のなかに、ラグジュアリ

ルが圧倒的なラグジュ

かへの、完全な一時的脱出。その演技的 日常ではないどこか、ここではないど

出て(es は ex = out of)しまうこと。 ているケープ(cape)からするりと外へ 脱出、エスケープ(escape)とは、着 は着られず、かつ身体の自由な動き えままならないほどの、非日常的コス の最たる衣装だからでもある。 としてまばゆいのも、自分ひとり は客席から携帯でぱしゃぱしゃ撮ら

グジュアリーは、日常的なるものと対 活を体験してみたりしている。延々 さて、「庶民の日常」的なものを強いー・アントワネットも宮廷での贅沢 し、田舎娘のコスプレをして「素朴な」

なかの・かおり エッセイスト・服飾史家。1962 年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。イギリスのケンブリッジ大学客員研究員などを経て文筆業に。連載記事は日本経済新聞、朝日新聞ほか多数。近著は『着るものがない!』『モードの方程式』(共に新潮社刊)など。2008 年 4 月より明治大学特任教授に就任